

いち・にの・さんしん



日本医療機能評価機構
認定病院

原三信病院 広報誌

October 2012 NO.41

病人のための病院

病院理念



作品:「山の麓のすそ模様」(撮影地:霧島) 写真部 筒井 玲子

病院基本方針

「質の高い医療の追求」
「居心地の良い環境の提供」
「心のもったサービスの実践」

目次

- 健康管理センターにゆ～す
「健康診断は自分の健康状態を知る第一歩」…………… 2
- 医学雑学講座「脳出血」…………… 3
- THEプロフェッショナル「リンパ浮腫指導技能者について」… 4
- 検査紹介コーナー「採血についての豆知識」…………… 5
- 香椎原病院だより・薬の豆知識…………… 6
- 呉服町腎クリニックからのお知らせ…………… 7
- 病院及び関連施設のご案内…………… 8





健康診断は自分の健康状態を知る第一歩

原 三信病院健康管理センターでは2日ドック（宿泊）・1日ドック（日帰り）・生活習慣病健診・定期健診・協会けんぽ健診・雇用時健診などを行っております。また脳ドック・呼吸器ドック・心臓ドック・甲状腺ドック・乳房検診・婦人科検診などのオプション検査もいろいろ行っております。患者様の目的に合った健康診断を選択できるようにしておりますので、検査内容をご検討いただきますようお願いいたします。

当センターは病院併設の健診施設ですので、再検査・精密検査が必要になった際は当院の各専門外来への受診も可能です。各科外来への案内を行っておりますので、お気軽にご相談ください。また保健指導の充実にも努めておりますので、生活習慣の改善などには保健指導をご利用ください。

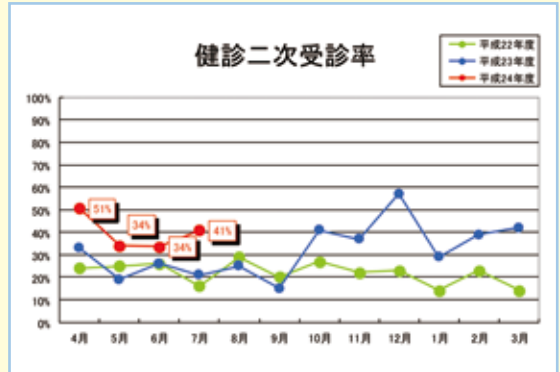
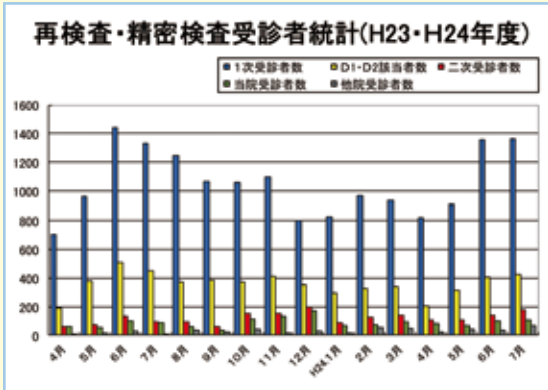
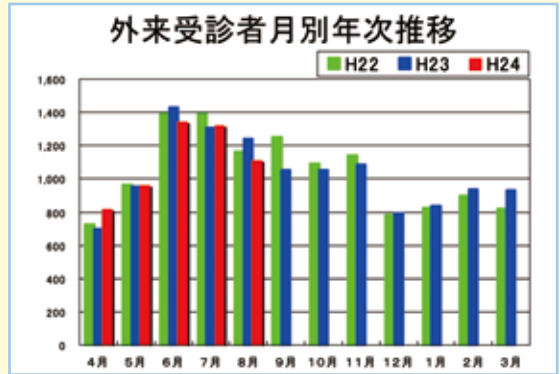
人間ドック・健康診断は、予防医学であると考え

られています。早期疾病発見だけでなく、早期リスク発見を行なっていくことが重要です。当センターは単なる検査成績判定ではなく、生活を重視した健康診断や疾病発症予防・再発予防のための生活管理に取り組み、精度の高い検査を提供し精度管理と情報の共有化を行ない、画一的でなく個別的な健康診断に努めております。また「自分の健康づくり」の基準を作り、高リスク群を設定し健康教育の充実をめざしております。

皆さまの健康の保持・増進のため、健康診断と健康づくりの支援を行っておりますので、当院の健康診断をこれからの生活にお役立ていただきますようお願いいたします。



健康管理センター長 川口 達大



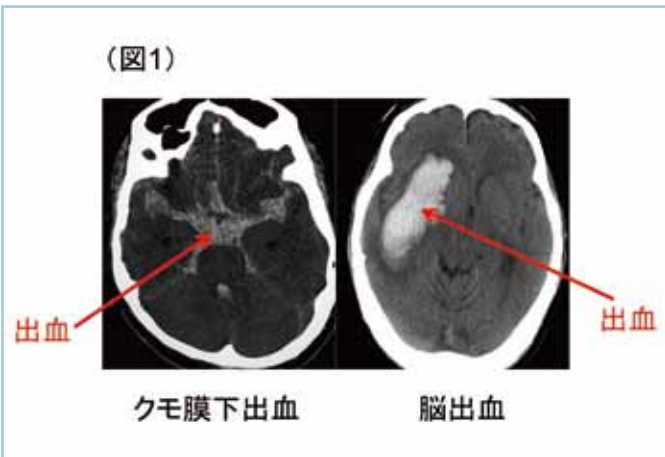
健診広報委員会 宮崎・川添・吉永・千蔵・山田・野田



医学雑学講座

脳出血

前 回のクモ膜下出血に続く脳神経外科疾患の2回目は、脳出血についてご説明します。クモ膜下出血は脳を包むクモ膜と脳の間隙間に出血が広がった状態でしたが、脳出血は大脳や小脳、脳幹といった脳そのものの中に、出血が起きて血腫(血の固まり)ができた状態です(図1)。その原因のほとんどが高血圧によるものですが、脳動脈瘤や脳動静脈奇形、脳腫瘍などの病変が原因となることもあります。



脳出血の最大の原因である高血圧は、降圧剤を内服することで治療できますので、日頃から自分の血圧を確認し、高くなっているようであれば、かかりつけの医師に相談することが重要です。実際、脳出血を発症して来院される方は、日頃からほとんど病院にかからず血圧を測定していなかった方や、血圧を測定して高いことがわかっても放置していた方、その日に限って血圧の薬を飲み忘れて血圧が上がってしまった方がほとんどです。

脳出血は、突然の頭痛や吐き気に加えて、(出血を起こした部分の脳が壊れたために)様々な症状が出現します。例えば大脳であれば、麻痺(手足が動かない)や感覚障害、失語(言葉がうまくしゃべれない、理解できない)、視野の異常といった症状、小脳であればめまい

やふらつきなどの症状が出現します。普段と違う強い頭痛と吐き気に加えて、これらの症状が出現した場合は、直ちに



脳神経外科がある病院を受診する必要があります。

脳出血の治療は、血腫が小さく生命の危険がない場合は、点滴や内服などの内科治療で経過を見ます。これは手術で血腫を摘出して、出血によって壊れた脳の機能が回復するわけではないからです。この場合はリハビリテーションなどで機能が残っている脳や神経を訓練し、機能しなくなった部分を補うようにしなければなりません。しかし、出血が大きく命を脅かす危険がある場合や、出血源から出血が続いている場合、出血源となっている病変が再度出血を起こすリスクがある場合は手術が必要となります。手術には開頭術(頭蓋骨を大きくあけて行なう手術)と内視鏡や定位脳装置を使った穿頭術(頭蓋骨に小さな穴をあける手術)がありますが、いずれも当院で行なうことができます。



脳神経外科 部長 庄野 禎久



リンパ浮腫指導技能者について

リンパ浮腫とは

病気や手術などが原因で、手や足にむくみが起こることがあります。このうちリンパ液が貯留してむくみが起こる症状をリンパ浮腫といいます。リンパ液はリンパ管を通して全身を巡り細胞の老廃物などを運んでいるのですが、この流れが障害されリンパ液が溜まることでむくみが生じます。

むくみ(リンパ浮腫)は、傷などから感染を起こし発症するものや、原因不明のものなどもありますが、その多くはがんなど病気の治療で手術や放射線治療を行なうことにより、リンパ液の流れが悪くなるのが原因です。乳がんが手術を行えば腋のリンパの流れが悪くなるので上肢(腕)のリンパ浮腫が起こり、直腸、子宮、前立腺など骨盤の中にある臓器の手術を行えば下肢(足)のむくみが起こる場合があります。



■ドレナージ



■弾性包帯を用いたバンテージ

リンパ浮腫は一旦発症すると、今のところ、完全に治る治療法がないのが現状です。進行すると靴が履けない、歩きにくいなど日常生活に支障をきたすことも少なくありません。また、放置すると皮膚が硬くなる象皮症となり、腕や足が変形したり、皮膚の色が変色したりと外観が変化するため、精神的なストレスも加わります。そのため、リンパ浮腫は悪化させ

ないことが重要です。従来から行なわれている保存的療法としては、患肢挙上、安静、塩分制限などの生活指導、利尿剤などの薬物投与、空気圧マッサージなどがありますが、現在は教育を受けたスタッフが、手でマッサージのようにリンパ液を心臓に戻すドレナージや弾性ストッキング、弾性包帯を用いたバンテージなどの複合的治療が主流です。

リンパ浮腫外来について

当院リンパ浮腫外来では、医師が診察・検査を行なってリンパ浮腫と診断された後、リンパ浮腫に関する専門的な知識と技術を習得し研修を受けた専門資格を持つ看護師がケアを行なっています。そして、複合的理学療法(皮膚のケア・圧迫方法・生活指導・ドレナージ)を紹介し、リンパ浮腫の改善を目指します。

また、手術を受けられた方にどのような症状がリンパ浮腫なのかなどを説明し、日常生活での注意点や予防方法などのリンパ浮腫予防のセルフケア習得を支援しています。

おわりに

私たちは治療に取り組む患者様に最善のセルフケアに取り組んでいただけるよう、お一人おひとりに応じた手順や内容を指導させていただき、苦痛を抱える患者様に寄り添いたいと考えています。

※リンパ浮腫外来は、完全予約制です。リンパ浮腫診断以外の治療は、保健外診療となるためすべて自費診療となります。



看護部 3階2病棟
科長 藤川暢子



検査紹介コーナー

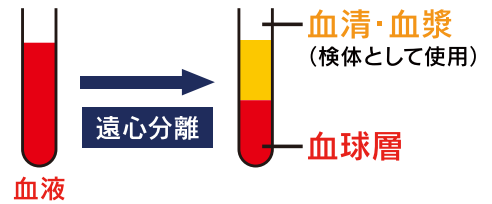
採血についての豆知識

目的

血液中には様々な成分が存在しており、体の状態の変化(病気や服薬など)によって血液中の成分の量が増えたり減ったりします。そのため、それぞれの項目の値を測定することで、体の状態を把握することができます。

血液の測定方法

- 1 一般に採血した血液をそのまま検査する血液検査。
- 2 採取した血液を分離(遠心分離)させ、その後に得られる血清などを使って検査する生化学検査・血清検査などがあります。



注意事項

- 採血項目の中には、食事により数値が変化するもの(血糖値など)があります。
- 採血予定前は、食事をとって来て良いかどうかの確認をしてください。
- 採血により気分が悪くなる方は、事前にお知らせください。



■ 採血管

食事をされた場合の影響

● 血糖値

食後30分位から上昇しはじめます。食後の血糖値が空腹血糖値と判断される恐れがありますので、もし採血前に食事を摂られている場合はお申し出ください。

● 中性脂肪

脂質検査のひとつですが前夜の食事、前々日の食事で、多量の脂肪分を摂取することにより、一過性に上昇することがあり、病気の判断に迷うことがあります。

ちなみに、総コレステロール、HDLコレステロールは直前の食事の影響は受けません。

● 尿素窒素

腎機能を判断するうえで重要な検査ですが、高たんぱくの食事を摂取しつづけることにより上昇する場合があります。

● 尿酸値

尿素窒素と同じく高たんぱく、とりわけ肉類を多量に摂取することにより一過性に上昇することがあります。

過激な運動による影響

● 過激な運動で上昇する酵素:CK(クレアチンナーゼ)

筋組織に多量に存在し、スキーなどで随意筋とよばれる大きな骨格筋を激しくつかうことにより通常の10倍以上まで上昇することがあります。

その他

- 検査項目の種類により採血管の種類、本数も複数あります。

また、採血まで長くお待たせすることもありますがお理解いただき、ご協力お願い申し上げます。

※検査に際してご不明な点がございましたら、お気軽に医療スタッフにお尋ねください。

診療技術部 臨床検査科科长 尾田 敏恵





患者様に安心して入院していただくための取り組み

原 三信病院から当院へリハビリテーションを目的に入院された患者様は、平成23年度は74名でした。当院に入院された患者様に安心して治療を継続していただけるよう、当院ではリハビリテーションに特化した病棟「回復期リハビリテーション病棟（45床）」と「リハビリテーション専用病棟（58床）」を設けております。



■ 脳神経外科カンファレンスの様子

そして、この2つの病棟に専属のリハビリテーションスタッフをそれぞれ配置し、患者様の情報共有のために多くのカンファレンス（話し合い）を実施しています。

また、当院でのリハビリテーションの進捗状況や退院状況などの情報共有のために、原三信病院での整形外科回診（医師が病室を回って患者様を診察する）や総合診療科回診、脳神経外科カンファレンスに当院のスタッフが毎回参加して連携を図っています。

今後も、患者様のためにより良い医療を提供できるように努力してまいります。

リハビリテーション科 科長代行 梅崎 浩嗣

薬の豆知識

薬の飲み方のひみつ

内 服薬は服用後、消化管から血液中に吸収され、体内に広がって効果が出ます。

それではその後、薬の成分はどうなるのでしょうか？

実は、薬は体内に広がる過程で肝臓で分解（代謝）されたり、腎臓から排泄されて体内から効き目を示す成分が失われていきます。分解・排泄される時間は薬によって異なり、効果を持続させるために必要な

服用時間の間隔も様々です。

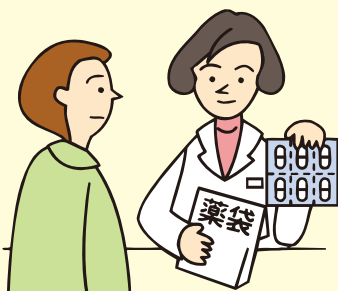
1日1回飲めば良い薬もあれば、1日3回飲まなければならない薬もあるのはこの

ためです。

最近では、1日の服用回数を減らすために徐放剤と呼ばれる薬も増えています。

徐放剤は、薬の成分が徐々に吸収・分布・代謝・排泄されるよう工夫されています。

このように、薬を服用する回数はそれぞれしっかりと決められています。薬をもらったら、用法用量をしっかりと守って飲みましょう。



薬剤科 吉原 詩乃



呉服町腎クリニックからのお知らせ

栄養・かゆみ症状の管理班

栄 養・かゆみ症状の管理班は透析患者様の食事療法および透析患者様に多いかゆみ症状についての説明や情報提供活動を行なっています。

呉服町腎クリニックでは毎月2回(原則として第2週、第4週の月・火曜日、祝日の場合は変更する場合があります)の定期的な採血で患者様のカリウム(K)、カルシウム(Ca)、リン(P)などの血液に蓄積しやすい電解質の状態を評価しています。透析患者様のリン(P)の蓄積は、かゆみ症状の原因の一つと考えられております。かゆみ症状が強い場合は、皮膚科の受診が必要な場合があります。また、栄養・かゆみ症状の管理班は、血圧、透析と透析の間の体重増加量、胸写などによるナトリウム(Na)、水分の状態の評価も行なっています。

血液透析治療の効果は(ご自宅での)食事療法の状態によって大きく変わります。ご自宅での食事の状態や水分摂取の把握を行なうことが重要です。患者様にお食事の内容に関する聞き取り調査を行なっ

ておりますので、ご協力いただくと幸いです。また、原三信病院栄養科のスタッフによる呉服町腎クリニックでの定期的な栄養相談・栄養指導も行なっております。



■ 平田(千)



■ 池田

原三信病院栄養指導室での個別相談の予約も可能ですので、ご利用ください。栄養科では3か月に1度“栄養科だより”を発行し、腎臓病食(透析食)の注意点をお知らせしています。



■ 貸川



■ 原賀



■ 栄養科だより



編集後記

秋風の快い季節となりました。今号より「病院にゆーす」のコーナーを定期的に「健康管理センターにゆーす」に変更し、当院に併設する健康管理センターをご紹介させていただくことにしました。健康診断は病気や身体の異常の早期発見をはじめ、生活習慣病の予防や健康の増進につながります。当院の健康管理センターのことや、健康診断について多くの方に知っていただくことで、皆さまの「日々の健康」のお役に立てれば幸いです。

なお、広報誌に関するご意見は、1階公衆電話横・各病棟に設置の「ご意見箱」にお願いいたします。

広報・連携委員会 委員長 原 直彦

病院及び関連施設のご案内



原三信病院

〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8
 ☎092-291-3434 FAX092-291-3424
 URL <http://www.harasanshin.or.jp>
 ☒ info@harasanshin.or.jp

日本医療
機能評価機構
認定病院

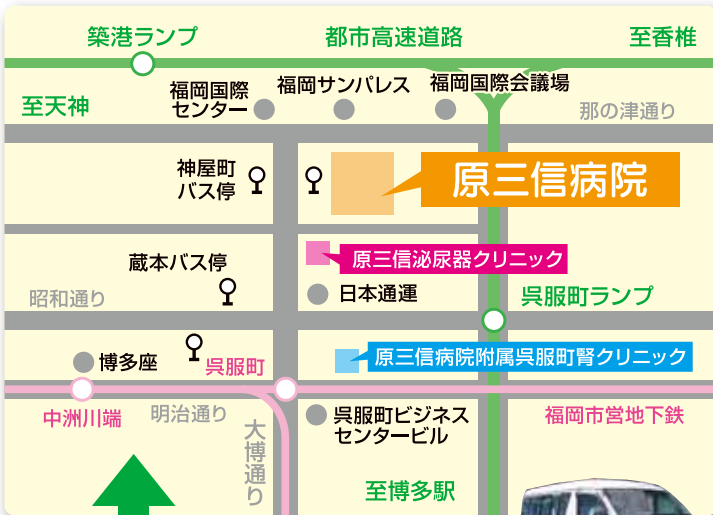
● 診療時間

月～金曜日 9:00～13:00・14:00～17:00 土曜日 9:00～13:00

※日・祝祭日および8月15日・12月31日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者様は、救急外来にて診察いたします。

● 診療科目

総合診療科・循環器科・消化器科・呼吸器科・糖尿病科・外科・血液内科・
 腎臓内科・脳神経内科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・婦人科・放射線科・
 麻酔科・臨床病理科・歯科・睡眠呼吸障害センター・健康管理センター



原三信病院附属 呉服町腎クリニック



〒813-0011
 福岡市博多区中呉服町1-25
 ☎092-262-2828
 FAX092-262-2853
 ☒ gofukumachi@harasanshin.or.jp

● 診療時間
水曜日 14:00～17:00
 ● 診療科目
内科・人工透析

原三信泌尿器クリニック



〒812-0034
 福岡市博多区下呉服町2-13
 双和ビル2F(双和薬局上)
 ☎092-283-5121
 FAX092-283-5131

● 診療時間
月～金曜日 9:00～13:00
14:00～17:00
 ● 診療科目
泌尿器科

シャトルバス運行しています

	香椎原病院発	千早駅発	原三信病院着	原三信病院発	千早駅発	香椎原病院着
午前	9:30	-	10:00	10:10	10:35	10:40
	11:40	11:50	12:10	12:20	12:45	12:50
午後	13:40	13:50	14:10	14:20	14:45	15:00
	15:50	16:00	16:20	16:30	-	17:00

運休日: 日曜・祝日・年末年始 ※時刻・路線は変更することがございます。詳しくは受付にてお尋ね下さい。



香椎原病院



日本医療
機能評価機構
認定病院

〒813-0011 福岡市東区香椎3-3-1
 ☎092-662-1333 FAX 092-662-1330
 URL <http://www.kashiihara.or.jp/>

● 診療時間 月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
 ● 診療科目 内科・リハビリテーション科

病院理念

手の暖かさの伝わる病院